



深伊沢小学校

学校だより



平成23年12月15日

自ら考えて動くこと

12月も半ばになり、一年も残りわずかとなってきました。さて、この一年、子どもたちはどれほど成長してきたのでしょうか。

少し前のことになるのですが、職員室を賑わせたことがありました。

委員会の時のことです。栽培委員会が活動をしていて、苗が植えられていた黒いポットから、花壇に苗を植えかえました。

ポットはもう必要がなくなったので、水道の水できれいに洗い、乾燥させるために蛇口の近くに並べて置き、その日の活動は終わりました。

次の日、担当の尾崎先生がそのポットを片付けようと思って行ってみると、すでにポットは集められ、きれいに重ねて整理されていました。

尾崎先生は、誰か先生が片付けていただいたものと思い、職員室に戻ってその場にいた先生に聞いてまわりましたが、どの先生からも知らないという返事が返ってきました。職員室でも、「誰がしてくれたのかな？」といろいろな先生の名前が出てきていたのですが、結局誰なのかわかりません。謎は深まるばかりです。そこで、ひも解くように、子どもたちから聞いていくと、栽培委員の一人の子がポットを片付けてくれたことがわかってきました。その子は、先生から言われたのではなく、登校したときに並べられているポットを見て、片付けなくてはと思って作業をやったそうです。それがわかった先生方からは称賛の声が上がっていました。

先生から言われたことをきちんとやることも大切ですが、まわりから言われなくても、状況を判断し、自分で考え、動き出すことができるというのは、その子に力がついているあかしでもあります。職員室にいた私たちも、蒔いた種から芽が出てきたのを見つけた時のように、大喜びすると同時に、もっともっとういっただ子どもたちが育ってほしいと強く思いました。自分で考え行動するということは、子どもたちがこれから社会へ出て、生きていくうえでも、もっとも必要なものの一つではないでしょうか。子どもたちの



生活の中に、このような姿をいっぱい見つけれられることを願う秋の一日でした。

鈴峰中学校区人権フォーラムに参加しました



2日（金）に6年生が鈴峰中学校を訪問し、椿小学校や庄内小学校、鈴西小学校、鈴峰中学校の児童生徒と一緒に人権フォーラムを行いました。

最初に鈴峰中学校の授業風景を参観させていただきました。4月からの自分の姿を思い浮かべていたので

でしょうか、6年生は少し緊張気味で教室をまわっていました。その後、体育館で各校からの人権作文を紹介し合ったり、一緒にドッチボールなどを行ったりしながら交流を深めてきました。



「ドラえもん募金」の引渡式を行いました

7日（水）に社会福祉協議会の佐藤さんに来校いただき、「ドラえもん募金」を福祉委員会よりお渡ししました。

佐藤さんは、東北の被災地のボランティアに参加されていて、帰ってきたばかりだそうです。

募金は、震災の復興にも使われるそうです。ありがとうございました。



鈴峰地区防犯委員会の防犯標語をありがとうございました

鈴峰地区防犯委員会から依頼がありました防犯標語に応募いただき、ありがとうございました。いくつも書いていただいたり、ご家族と一緒に考えていただいたりした標語がたくさん見受けられました。ありがたいことです。防犯について家族みんなで話し合うことが、すでに大きな防犯活動となります。

応募していただいた標語は、防犯委員会で審査をして、採用を決定していきます。

